

平成 27 年度介護等体験談

社会福祉施設 1

5 日間の介護等体験を介護老人保健施設で行わせていただくに当たって一番心配だったことは「認知症の方とコミュニケーションをとることができるだろうか」でした。初日フロアに行った時に入所者の方々と目が合っても小さな挨拶しかできませんでした。2 日目もコーラスや食事の配膳などでは少し会話をしようとしていましたが、フロアで皆さんが集まっているところには「静かだし声をかけてもいいのだろうか。話しかけても返事があまりないと嫌だなあ...。」という気持ちが強くてなかなか積極的になれませんでした。しかし、これは私が入所者の方々の不自由な部分を理解していなかったこと、誰からにでも聞き取りやすいような話し方ができていなかったこと、決め付けたイメージや「何を話せばいいのかな」という迷いが強すぎて相手まで緊張させてしまっていたことが原因だったと思います。3 日目以降は入所者の方を覚えられてきた自信も少しだけ付いて積極的に入所者の方の所へ行って楽しく笑顔でお互い話をできるようになってきました。認知症の方とも話して、相手の方から悩みを打ち明けてくれたこと、笑ってくれるようになったことはこの実習の中で何よりも嬉しかったです。

実習中は施設の方はいつも大変お忙しいそうになっていましたが、笑顔でテキパキ働いていらっしゃいました。教育実習中も先生方は同様にお忙しい中で私達を指導してくださるのだと思います。来年度の教育実習でも感謝と「報告、連絡、相談」を忘れないようにしなければならぬと思いました。

この 5 日間での体験は将来教職に就いた時、たくさんの人数を相手にすることにおいての教師間での情報共有、第 3 者（地域の方やボランティアの方）との連携、生徒の抱える問題や変化に気付き、その原因を時には全員で考えて対処することなどとして必要になるはずです。また、誰にでも聞いてもらえるように相手の様子をしっかりと見ながら声の大きさやスピード、トーンを調節したり、ジェスチャーをつけたりすることも今後たくさんの場面で応用していこうと思います。今回直接たくさんの方とコミュニケーションを取って多くのことを学べた大変充実した体験をさせていただきました。ありがとうございました。